

第10回豊橋市立特別支援学校整備連絡協議会会議録要旨

1 **開催日時** 平成26年2月10日（月）午後3時～午後4時

2 **開催場所** 豊橋市役所 西館4階 災害対策本部室

3 **出席者 委員** 吉見広志（代理出席：高浜昭博 愛知県教育委員会財務施設課主幹）、黒谷厚志（代理出席：吉田伸一 愛知県教育委員会特別支援教育課主幹）、恩田やす恵、中村文紀、白井英俊、花井君枝、山崎博充、黒柳哲禎、村田勇一郎、小林一博、荒木登喜子、平井敏久、増田隆雄、戸田守彦、安形佳典、小林雅代 ※敬称略

事務局 加藤喜康（教育政策課長）、田中正己（教育政策課主幹）、山田浩一（教育政策課指導主事）、大橋史明（教育政策課主任）
青木秀水（建築課長）、加藤宣隆（建築課主査）、

欠席者 小笠原幸忠 ※敬称略

4 議 事

（進行：事務局 教育政策課長）

（1）特別支援学校建設工事スケジュールについて

建築課長より「特別支援学校建設工事スケジュール」について説明

<委員>

地元に対して十分に配慮をしていただきながら工事を進めてもらっているため、ありがたく思っております。引き続き、地元の協力を得ながら工事を進めていることをみなさまにも承知しておいて欲しいです。また、左官工事の一部で夜中の1時や2時までかかるということを知っています。照明の明るさなどで周辺に影響を及ぼすと聞いているので、周囲の住民に理解を得ながら進めていただきたいと思います。

周辺道路整備について、現在の懸案事項である高豊から南栄へ抜ける道が400メートルに渡って狭くなっており、ダンプがはみ出しながら走っている。県の領分になると思いますが、一番の難題であると思っておりますので、皆様に現状を報告するとともに拡幅をしていただくようお願いをしておきたいと思っております。

<委員>

県の担当課には、声を届けさせていただいていますので、今回の件も伝えておきます。

<建築課長>

夜の工事ですが、近くなったら改めて調整をさせていただきます。

<委員>

地元としては、全面的に協力する体制がありますので、この機会を捉えて県でもがんばっていただきたいと思います。

<教育政策課長>

毎月1回工事業者、地元自治会、事務局が入って情報交換をさせていただいています。できましたら、内覧会を3月くらいにできるように計画しています。

<委員>

周辺には街路灯が少ないので、街路灯の設置もお願いします。

<教育政策課長>

協議会のメンバーには、内覧会の前に見学できるようにしたいと思っています。

(2) 特別支援学校入学希望等アンケート結果等について

事務局より資料「特別支援学校入学希望等アンケート」について説明

<委員>危惧しているのは、通学方法の公共交通機関についてです。地元としては、学校へ通学するために公共バスを延長してもらおうということで話をしていますが、現在の希望者が3名なので不安があります。公共バスの延長が実現するようにもっと公共交通機関を利用してもらえるようにしてもらいたいです。

<教育政策課長>

これは現段階でのアンケートですので、ここには数字として出てきていない職業コースもありますので、公共交通機関の利用者は増えると思っています。教職員も利用すると考えています。

<委員>

公共交通機関を利用する場合の通学費用の補助を行う予定はあるのですか。

<教育政策課長>

愛知県下では、就学奨励費の対象となっておりますので、同様にしていきたいと思っています。

<委員>

アンケートは全数把握をされているのですか。

<教育政策課長>

全数の把握をしています。

<委員>

今まで豊川まで行くのは大変だったので、支援学級へ行っていたけど、これからは近くなるので移りたいという人がいると思うので、この表より数は増えると思っています。

(3) 開設準備に係る各検討委員会の活動状況について

事務局より資料「検討委員会 委員・アドバイザー 名簿」、「各検討委員会の状況」について説明

<委員>

委員には、地域を良く知っている野依小学校の先生などをメンバーに入れて欲しいです。地域

との軋轢ができるとお互いに嫌な思いをするので、具体的に地域も関係できるようにして欲しいと思います。

<教育政策課長>

教育課程の検討委員会にもそういう方を入れていくように検討したいと思います。地元の小中学校や自治会などからもメンバーに入ってもらえるようにしていきたいと思います。また、工事の進捗とは別に検討委員会の進捗状況も報告をする機会を設けさせていただきます。

<委員>

関係機関との連携について、福祉サービス事業所との連携をするならば、福祉事業所を当初からメンバーへ入れておいた方がいいのではないかと思います。

<教育政策課指導主事>

連携は考えていましたが、更に考えていきたいと思っています。

<教育政策課主幹>

私たちが自立支援協議会に今年から出席させていただき、関係者との顔つなぎを始めています。

<教育政策課長>

まずはこれでスタートしたいですが、地元の意見を含めて検討をさせていただきます。

<委員>

学校の先生などの配置人数はどれくらいになるのですか。

<教育政策課長>

教職員は110名くらいを予定しています。細かなところは、固まってきたら報告します。

<委員>

教職員が特別支援学校の業務を行えるようになるのは、いつからですか。

<教育政策課主幹>

3月中・下旬の内示後から動き出すことになります。

<委員>

教員と地元の人間とのふれあいの機会を設けることは、考えているのですか。

<教育政策課長>

4月1日以降になりますが、校長候補が今年の4月から参りますので、校長には地元に入るようにしてもらいます。もちろんこの協議会へも出席してもらいますので、地元とのつながりも築いていけるようにしたいと考えています。

<委員>

入学前の説明会は、どこでやる予定なのでしょうか。

<教育政策課主幹>

会場は豊橋を中心に考えていますが、豊川養護学校に通う児童・生徒に対しては、できれば豊川養護でやりたいです。豊川養護の教員と相談をしながらその子にとって、どこが一番良いのか決めていくことも必要になるかと考えていますので、ぜひお願いしたいと思います。

<委員>

分かりました。また、職業コースについても内容が決まったら教えてください。

(4) その他

事務局より資料「豊橋市立特別支援学校」の学校名について説明

<委員>

豊橋市立くすのき特別支援学校の「特別」とは、どういう意味で何を表しているのですか。

<委員>

通常の支援だけでなく、特別な支援を行うという意味で付いているものです。

<委員>

シンボルツリーとはどのようなものなのですか。

<教育政策課長>

市の木でもあり、8メートルくらいのくすのきを正門のところに植える予定です。いつ来ても常緑のどっしりとした木が子どもたちを迎えてくれる状況になります。

他に何かありますか。

それでは、豊橋市立くすのき特別支援学校という名称で進めていきたいと思いますが、どうでしょうか。

<教育政策課長>

何もないようなので、この名称で進めさせていただきます。

ありがとうございました。

<教育政策課長>

平成26年度の予算は、想定していた予算額を確保できそうな予定です。

今日が、今年度最後の会議となりますが、来年度もどうぞよろしくお願いします。

本日は、ありがとうございました。